

事務事業評価シート 令和 2 年度事後評価・決算

令和 4 年 2 月 10 日時点

事務事業名	コード	99992 配水管及び施設の整備	予算科目	会計	課	項	目	担当班	工務班
基本施策	18	安全・安心な水の供給	根拠法令	水道法					
施策の展開	37	上水道の安定供給	戦略事業	177	配水管及び施設の整備				
施策の展開			戦略事業						

(1) 事務事業の概要

① 事務事業の期間	② 事務事業の内容 ※何をどのようにする事務事業なのか、市民が理解できるように記述する、行政用語は使わない	
<input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 <input type="checkbox"/> 平成 年度～ <input type="checkbox"/> 開始年度不詳 <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 平成 年度～ 令和 年度まで	配水管の計画的な布設及び老朽化した施設の改修・更新を行うことにより、水道施設の耐震化を進め災害に強い上水道を整備して行く。 1. 老朽化した配水管の更新を行い、漏水の防止を図るとともに耐震管に入替えることにより、災害に強い配水管を整備する。 2. 配水池の増設及び耐震化を行い、適正な容量の確保と施設の強靱化を図る。 3. 各配水場の配水設備等の修繕及び更新を行い、水道水の安定供給を確保する。	
③ 事務事業開始の経緯・事務事業の現状	④ 事務事業に関する課題・環境の変化	⑤ 事務事業に対する住民からの意見等
水道事業の開始から35年以上が経過している。水道施設においては老朽化も進んでおり、2011年の東日本大震災では、配水管等の破損が多数発生した。このため、配水管や配水場設備等の水道施設の耐震化及び更新が必要となってきている。	・水道管の漏水が、年々増加傾向にある。 ・全ての配水管の耐震化には多大な費用と年月を要する。 ・配水池の一部が耐震化の基準を満たしていない。 ・配水場設備等の老朽化が今後更に進み、修繕費等の増加が懸念される。	漏水の修繕時に断水作業が伴うため、利用者に多大な迷惑をかけてしまう。

(2) コスト・特定財源の状況

① 事業費の詳細(2年度の決算) 単位:千円	
1. 工事請負費	4,319 配水管布設道路復旧工事
2. 修繕費	45,189 各施設設備の修繕等
3. 機械及び装置	42,048 各施設設備の更新等
② 特定財源の内訳(2年度の決算) 単位:千円	
1. 国庫支出金	0
2. 都道府県支出金	0
3. 地方債	40,700 工事・維持管理に係る負担金
4. その他	0

事業費	費目内訳	単位	29年度(決算)	30年度(決算)	1年度(決算)	2年度(決算)	3年度(予算)
	1. 工事請負費	千円	71,631	18,000	20,601	4,319	35,123
財源	2. 修繕費	千円	27,091	22,714	56,874	45,189	45,324
	3. 機械及び装置	千円	49,140	41,418	4,730	42,048	9,405
	事業費計(A)	千円	147,862	82,132	82,205	91,556	89,852
	1. 国庫支出金	千円	3,330				
	2. 都道府県支出金	千円					
3. 地方債	千円	70,020			40,700		
4. その他	千円	23,300	4,713	12,667			
5. 一般財源	千円	51,212	77,419	69,538	50,856	89,852	

前年度増減理由	工事請負費は入れ不調により未実施の工事があったため減額、機械及び装置は飯岡配水場高圧タンク更新を実施したため増額、財源を起債で対応。
---------	--

従事職員数 常時 2人 最大 6人 × 12日 = 延べ 72人

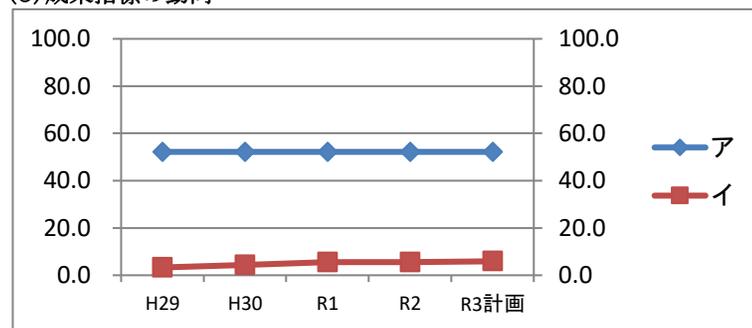
(3) 事務事業の手段・目的と対応する指標

手段	① 主な活動	③ 活動指標名	単位	29年度(実績)	30年度(実績)	1年度(実績)	2年度(実績)	3年度(計画)
	2年度実績(2年度に行った主な活動) 飯岡配水場高圧タンク更新工事 海上配水場低圧区次亜注入ポンプ交換業務委託 漏水管修繕工事等	ア 配水池耐震化工事	件	1	1	0	0	0
目的	② 対象・意図(対象がどのような状態になるのか)	イ 漏水管修繕及び老朽管更新工事	件	15	29	48	68	85
	対象意図 対象意図 配水エリアの水道使用者 配水池の適正な容量を確保するとともに、耐震化を図ることにより水の安定供給を確保する 水道使用者 老朽管を耐震管へ布設替えることにより、漏水等の防止を図り水の安定供給を確保する	④ 成果指標名	単位	29年度(実績)	30年度(実績)	1年度(実績)	2年度(実績)	3年度(計画)
		ア 配水池耐震化率	%	52.2	52.2	52.2	52.2	52.2
		イ 漏水率	%	3.3	4.4	5.5	5.5	5.9

(4) 事務事業優先度評価の結果

① 成果優先度評価結果		② コスト削減優先度評価結果						
施策貢献度	大きい	成果向上余地 かなりある	下位 1/3	中位 1/3	上位 1/3			
	普通							
	小さい							
評価結果		①	②	③	④⑤	⑥	⑦⑧	⑨
						(11)		

(5) 成果指標の動向



(6) 事務事業に関する評価

① 進捗状況	<input type="checkbox"/> 完了 <input type="checkbox"/> 順調 <input checked="" type="checkbox"/> 概ね順調 <input type="checkbox"/> 停滞 <input type="checkbox"/> 実施困難				
② 成果の状況	成果指標ア	成果指標イ	数値増=成果向上	数値増=成果向上	数値増=成果向上
【コメント】(低下の場合、その理由)			向上	向上	向上
③ 今年度取組事項(3年度に取り組む主な事項について記載)	時期	内容	今後の方向性	現状維持	見直し
	9月～1月	三川地区配水管布設替工事、さくら台地区配水管布設替工事等の実施	拡大 縮小	<input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 廃止・休止 <input type="checkbox"/> 見直し <input type="checkbox"/> その他()	水道施設耐震化計画・水道事業ビジョンに基づいて水道施設、配水管の更新、修繕を実施する。